

これからの近代遺産 ～旧都跡村役場、取り壊し問題の教訓

ジャーナリスト

浅野 詠子

2014/07/16

・ 古都奈良に息づく近代遺産

キーワード

近代化遺産／近代和風／登録有形文化財／戦争遺産／都市の景観づくり

=写真①

・ フィールドワーク授業（2012）で学生が発見したもの =写真②

～奈良市三条町のレンガ遺構のある駐車場

・ 繊維産業の奈良をしのぶトロッコ軌道跡

=写真③

～外観が町家でも近代化遺産。明治時代の大和棟について考える。

・ 新しい観光ルートの一例

～東大寺の戒壇院から大正時代の「工場跡」（きたまち）へ。

■…近代和風の主な足跡について…■

1894（明治27）年、波紋を広げた旧帝国奈良博物館本館のデザイン

（現・奈良国立博物館、重文） =写真④

1895（明治28）年 旧奈良県庁（解体）。奈良の近代和風の標準設計といわれた。洋風の木組み構造に瓦屋根。正面の車寄せにかえる股の意匠

1902（明治35）年 県令第八号。奈良公園の隣接地域における許可制がはじまる。「奈良公園ノ隣接地へ家屋其他工作物新築改築大修繕ニ関する願出ノ件」

1902（明治35）年 旧奈良県物産陳列所（現・仏教美術資料研究センター）

重文 =写真⑤

- 1908（明治41）年 旧県立図書館（郡山城址に移築、県指定文化財）  
～日露戦争の戦勝記念に着工した =写真⑥
- 1909（明治42）年 奈良ホテル開業 設計、辰野金吾
- 1930（昭和 5）年 奈良基督教会堂（登録有形文化財）  
～宮大工・大木吉太郎の傑作、瓦屋根に十字架
- 1933（昭和 8）年 **旧都跡村役場**（奈良市の市有財産） =写真⑦  
～県教委が文化財的価値を認めたが、近く取り壊しへ
- 1934（昭和 9）年 旧JR奈良駅舎（現・奈良市観光案内所）  
～旧鉄道省時代の最後の社寺風建築の駅舎  
=写真⑧

- ・旧都跡村役場、取り壊しの教訓とは  
～市議会の論議ゼロ。忘れられた文化遺産  
熟議と合意形成に課題を残す

- ・住民パワーで保存された近代遺産たち

	（取り壊し計画の主体）	（保存先）
（1）文豪、志賀直哉の旧居	県	→ 学校法人奈良学園
（2）旧JR奈良駅舎	県	→ 奈良市
（3）県警旧鍋屋連絡所=写真⑨	県警	→ 奈良市

- ・語り部が伝える歴史のしずく=写真⑩、⑪

- ・わがまちマップをつくろう

（附記）登録有形文化財「日本一」の大阪を訪ねて ※現在の件数「日本一」は兵庫  
～勝手に面白文化財の紹介（四条畷市のまちづくりグループ）  
文化財の地産地消の取り組み（河内長野市の文化財行政）

主な参考文献『奈良の平日 誰も知らない深いまち』（浅野詠子、講談社）2011年  
『奈良県の近代和風建築』（奈良県教育委員会、調査報告書）2011年  
『奈良県の近代化遺産』（奈良県教育委員会、調査報告書）2014年